



南部ブロック 令和3年11月度ブロック会 報告

令和3年11月度ブロック会

日時 令和3年11月24日 18:00～

場所 掛川市大東市民交流センター

出席 16/17社

11月度南部ブロック会における検討事項報告

ブロック会は測定機器の校正試験、防具・保護具の耐電圧試験申込期限が迫っていることの周知、理事会及び取締役会の報告、安全作業を全うするための意見のとりまとめ、ホームページに記載された連絡、報告事項の周知徹底をしました。

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため出席者はマスクの着用、手指の消毒、会を短時間で終了する
2. 測定機器の校正試験
3. 理事会、取締役会の開催報告
4. 安全推進活動の意見とりまとめ
5. ホームページに記載された連絡、報告事項の周知徹底
6. 防具・保護具の耐電圧試験申込の依頼

の報告及び検討をしました。

例年12月はBL会の開催はしません。新年会も中止となりましたので次回は令和4年1月27日19:00～ 通常のBL会となります。(新型コロナウイルス感染拡大状況によっては中止も検討します)

以上、よろしくお願ひします。

株式会社阿形電気 阿形

中部電力管内で2021年6月に墜落事故が6日、24日と相次ぎました。

この2件の墜落事故の詳細を各自確認して今後安全作業を全うするためにどうすべきかを考え安全に関するディスカッションを実施し、対策案をまとめ年内に県協会へ提出することになりました。

南部支部の取り纏め

1. 安全作業を全うするにはどうすべきか

- ・店舗ランク、個人ランクで与えられた作業を超えた作業はしない
- ・認定訓練での手順を現場作業でも確実に行う

2. 具体的な対策案

- ・作業前はTBM・KYにより危険個所の再確認と作業手順を確認する
- ・事故例をいつでも閲覧できるようにホームページなどに掲載し、危険作業、危険行動を再確認できるようにする
- ・お互いに危険行動を注意できる作業員同士の信頼関係、環境を築く

中部電力管内で 2021 年 6 月に墜落事故が 6 日、24 日と相次ぎ、7 月度ブロック会にてこの 2 件の墜落事故を各自確認して皆さまから今後安全作業を全うするために安全に関するご意見を集計しました。

1. 安全作業を全うするにはどうすべきか

- ・ 柱上作業では、保安帽・手袋・安全带等を確実に着用する。
- ・ 相番者（作業責任者）は、柱上作業者に常に声を掛け危険な行為などをさせない。
- ・ 検電を確実に実施する。
- ・ 社内朝礼での当日の仕事の打ち合わせを徹底する。
- ・ 現場での作業前の K Y。
- ・ 無理な作業は行わない
- ・ 高所作業時での安全带使用。
- ・ 安全教育の徹底
- ・ 基本的な手順を守る
- ・ 単独作業をしない
- ・ 慌てず、急がず、特に安全带は確実に
- ・ 安全带を、正しく使用する
- ・ 初心の心を忘れずに作業する
- ・ 作業責任者を特別教育などにより、その責務の重要性を高める

- ・ 作業者の基本的安全作業の徹底を図り、作業責任者との連携を深める
- ・ 本フック、補助フックの取付けは必ず目と耳で確認する
- ・ 昇柱の方法を必ず厳守する
- ・ 引込単独作業は行わない
- ・ 作業前の KY・TBM の徹底
- ・ 工具の点検
- ・ 高所作業は単独では行わない
- ・ 昇柱の際には胴綱の基本動作を確実に行う
- ・ 慣れた作業でも基本に忠実にを行う

具体的な対策案

- ・ 過去の柱上作業での事故事例をまとめ、組合のホームページ等でいつでも閲覧できるようにして、各会社での安全教育に役立てる
- ・ 当日同じ現場のメンバーで必ず打ち合わせをする
- ・ 現場で作業前の KY を簡単な作業でも徹底する。
- ・ 無理だと思える作業は必ず現場監督、作業責任者に相談する。
- ・ 高所では必ず安全帯を使用する。未着用にはちゃんと声掛けする。
- ・ 始業前点検の完全実施
- ・ 作業前ミーティングで危険予知トレーニングを行う

- ・技能訓練を受ける
- ・TBM (KY) を行う
- ・目と耳と手で確認する
- ・一人作業はしない
- ・補助フックの使用を忘れないこと
- ・フルハーネス型を使用する
- ・昇柱時、単独作業はしないこと
- ・昇柱作業に関しては作業車にて行う（センター施工）
- ・新たにマニュアルを作成し昇柱訓練にて周知していく
- ・各々の事業所又組合等の組織において作業責任者の教育を行う
- ・作業者の危険予知活動（K・Y）と作業責任者の指導、監督の方法を一緒に取り組む
- ・従業員同士で確認を怠らないようにする
- ・作業手順の確認 各自の仕事の役割分担の確認
- ・胴綱・ヘルメット・作業服等 仕事に携わる工具の再点検
- ・昇柱する時は相番を付け、相番の指示があるまで胴綱の移動は行わない
- ・本フックを外す際には、確実に補助フックが取付けられていることを確認してから外す
- ・足場ボルトにいきなり全体重をかけずに、確かめながら昇柱する